

・建学の精神・大学の基本理念、使命・目的、大学の個性・特色

1. 大学の基本理念

本学は、今日人類社会全体が直面する「人間環境をめぐる困難な問題」に対し、既存の学問・教育の限界を克服して解決の展望を開くことを目的として創設された。その実現のため「人間環境学」という新たな学問の理念を打ち立て、この理念に従って大学の全体制を計画し組織している。さらに大学院人間環境学研究科は、この目的をさらに高度な教育研究において達成し、わが国の文化や社会に寄与することを目指している。つまり、「人間環境学」が本学の学問・教育の理念であり、同時に本学の教育・研究制度の理念でもある。

人間環境学の理念

本学の理念・目的を担う「人間環境学」とは、「人間環境」の探求のなかで学問の諸分野を相互に関連させ、総合していくことを通じて、個別領域へと分裂している学問を有機的に再統合する新しい学の理念である。「人間環境」とは、人間の生存と活動の全体に対して影響を与える環境自身の形成に、人間が既に関与しているという、人間と環境との相互的な関わりのあり方を意味しており、これまでの人間と環境を単純に対立する二項として理解する環境理解の仕方を反省した上で、環境研究の重層的な把握を目指すために選ばれた名称である。

この「人間環境」という語は、本学初代学長竹市明弘が設立に尽力し、初代研究科長を務めた京都大学大学院人間・環境学研究科（平成3(1991)年設立）の名称として使用されて以来、すでに様々な大学の学部や大学院の研究科・専攻の名称に用いられているが、その明確な定義はなされぬまま、人間に関係する環境という程の漠然とした意味で使われている。本学はこれに上記のごとく本質的な定義を与えたのであるが、更に分析して以下のように人間環境そのものの文明論的次元にまでさかのぼった規定を与えるものである。

人間環境の文明論的規定

人間がその内に自分を見出す環境は、自然環境、経済・社会環境、生活環境、歴史環境、文化環境といった様々な次元と層とが積み重なっているものと考えられる。それらの多様な環境は、人間の存在と行動を制約する単に客観的な条件として人間に関与するのではない。社会・歴史・文化環境は言うまでもなく、自然環境にあっても、人間や生物一般の活動と利用との影響の下に形成されてきたものである。人間に影響を与える環境の形成に人間自身が関与するこの傾向は、科学技術の圧倒的な力をもって自然の改造に人間が関わり始めた時、自然と人間との関係に決定的な変化をもたらすこととなった。すなわち環境問題の発生、環境の危機である。

人間環境学はこのような「環境への人間の関与」、そしてその結果としての「環境の危機」を孕む問題として、人間環境を、教育研究の対象とする。すなわち、人類社会に豊かな展望を開きうるような人間環境の新しいあり方を探究するため、人類社会の未来を決する人間と環境全体の関わりの問題、現代社会の根底を形づくる精神とその環境の問題、そしてこれまでの人間環境を形成すると共に将来の基盤ともなるであろう歴史的な文化環境の問題。人間環境学はこの三つの問題系を、一つの統合された「人間環境学」として総合的・全体的に教育研究する。

2. 人間環境学と研究教育システム

三つの問題系に対応して本学の人間環境学部では、人間存在の制約であると同時に人間によって形成される人間環境のよき創造を目標として教育研究する人間環境専攻、失われた精神とその精神環境との再建を目指して教育研究を行う精神環境専攻、われわれ日本人がこれまでの歴史の中で形成すると共にこれからの日本人の社会的活動基盤となるであろう日本文化を教育研究する歴史・文化環境専攻の3専攻を設けている。この三つのアスペクトは相互的な関係にある。すなわち、未来の方向が現在を形作り、過去の隠された側面をも暴き出し、他方、掘り出された過去の新しい姿が新しい現在と未来を創出するというものである。従って、人間環境学部においても3専攻は人間環境学の個別分野としてそれぞれ独立しているのではなく、専攻間の相互的有機的連関と総合によって初めて人間環境の全体を探究する人間環境学が成立するのである。大学院人間環境学研究科においては、三つの問題系の教育研究をさらに統合し、その基盤の上に立って専門的な研究者、職業人を育成することを目指している。

人間環境学と教養教育・人格教育

本学の教育研究の理念において特筆すべきは、「人間環境学」の学修を、単に専門的な教育としてだけではなく、同時に教養教育の実現のための新しい試みとしても位置づけていることである。すなわち、履修方法において主専攻・副専攻制を採ることによって一つの専攻を専門的に探究するだけではなく、他専攻の科目を副専攻として修得させることにより、三つの問題系を相互に連携させ総合する人間環境学の教育を行っているのである。これは人間環境学の理念によって学問諸分野を総合した新しい教養教育を実現することを意味している。さらに、これら人類社会が取り組むべき問題に対して使命を自覚し解決に貢献しようと志す、社会に貢献すべき人格の形成も同時に達成することを目指している。